



平成29年8月1日

健康福祉部健康増進課感染症対策グループ
担当者 佐野、野路、上藤
電話番号 0776-20-0351
県庁内線番号 2625、2626

報道機関各位

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生について

福井県内で初めて、重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome：以下「SFTS」という。）の患者が確認されました。

1 患者の概要

平成29年7月31日19時頃、二州健康福祉センター管内の医療機関から、同センターに対し、患者からSFTSウイルスを確認した旨届出があった。

このため、同センターは、患者の健康状態、行動等についての調査を実施した。

- (1) 患者：二州健康福祉センター管内在住の80代 男性
- (2) 主な症状：発熱、食欲不振、血小板減少、白血球減少
- (3) 現在の状態：症状は回復してきている

発症日	初診日	入院	退院	検査	
				検査開始	陽性確認
7/24	7/27	7/27	—	7/31	7/31

2 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

(1) 原因と症状

- ・SFTSウイルスに感染することにより引き起こされる感染症であり、ウイルスを保有しているマダニに咬まれることで感染することが知られています。
- ・主な症状は発熱、消化器症状（嘔吐・下痢）で、重症化して死亡することもあります。感染後6日から2週間で発症します。

(2) 全国の発生状況（平成29年6月28日まで）

これまでに患者発生報告のあった都道府県は22府県で、患者数は合計266例となっています。

〔石川県、三重県、滋賀県、京都府、兵庫県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県〕

※ 本発表は、感染症の発生の防止するため、県民へ注意喚起を行うものです。

報道に当たっては、患者や家族のプライバシー保護の観点から格段の御配慮をお願いします。

県民の皆様への注意喚起

1 マダニに咬まれないようにしましょう。

- ① 森林、草むら、やぶ等に入る場合には、長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を少なくしましょう。
- ② 野外活動後は、マダニに咬まれていないか確認し、シャワー等で身体を洗い、服を着替えましょう。

2 もしマダニに咬まれてしまったら

- ① マダニに咬まれたら、自分で取らずに、医療機関で処置してもらいましょう。
- ② マダニに咬まれた後に、発熱や下痢などの症状があった場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

マダニの大きさ



吸血後のマダニ

マダニは血を吸うと大きくなります。



吸血後のダニ

吸血前のダニ

(実物大)

生息場所



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



マダニ対策パンフレット「マダニ対策、今できること」(国立感染症研究所)より